

Forest Good 2019 間伐・間伐材利用コンクール

応募申込書（継続的取組部門）

※受付番号 継続 2 1

会社名・団体名等 広島県立加計高等学校

受賞年度 2015

取組等の名称	間伐材を活用した商品開発及び「地産地消型カーボンマイナスシステム」の開発と実践		
活動の種類	<input type="radio"/>	間伐材の利用に係る取組（製品生産、資材利用、生活用品など）	
	<input type="radio"/>	間伐の実践（間伐の実施・普及、集約化取組、間伐技術の開発・工夫、間伐材の販売など）	
		環境教育活動（地域住民への普及啓発活動含む）	
受賞の内容 （概略）	地域の古くからの産業である林業に着目し、地域に目を向ける中で生徒の育成を図っていこうと、約15年前にスタートした「総合的な学習の時間」で森林を考える講座を立ち上げ、生徒が間伐作業の見学や体験、間伐材の炭焼き、地域の木工所との製品開発などに取り組むことで、生徒の課題発見・課題解決能力の育成を目指している。このように学校と異分野・異業種の各団体がコラボレーションして推進している取り組みが評価され「間伐ネット会長賞」を受賞した。		
受賞後の展開 （受賞から現在まで）	生徒自身が間伐体験を行い、校庭で間伐材を用いて木炭を作る。そして、その木炭を校庭やプランターの土中に埋設することでカーボンマイナスを推進する。しかも校内圃場に埋設することで、木炭の多孔質特性を生かして農業生産の向上につなげる研究も同時に進めている。プランターを用いるなど、日常生活の中でも簡便に取り組めることから、家庭用実践資材として「炭粉（すみこ）」を開発し、平成29年度より地域行事で販売している。地域の森林が吸収したCO ₂ を炭素固定し、地域環境の中で安定的に処理する画期的な実践である。		
今後の展開 （現在から未来へ）	プランターを配布した中学校では自校のプランターとの生育の違いに驚き、木炭の利用法の共有を望む声が寄せられており、中学校への木炭の提供と技術指導等も検討している。また、木炭商品の販売に関連して、カーボンオフセット制度への参加、J-クレジット導入も検討している。		
取組の実績	間伐見学（主伐含む）…年1回、間伐体験（手挽き）…年1回、木炭製作…年150～250kg 木炭の埋設…年50～60kg、木炭製品の売上…15800円（H29）・26900円（H30） 木炭を砕いて埋めるといった簡便な作業で、無理なくCO ₂ 削減効果を得られるだけでなく、野菜や花卉の生育を促進するという効果も得られた。特に、木炭粉散布地の白菜は非散布地の個体と比べて、生育時に害虫の食害を受けるものが極めて少なく、成長スピードが格段に速かった。さらに、木炭粉を入れたプランターに植栽した花卉は、例年と同様の種類であったが、葉の広がり、花蕾の数が格段に向上し、例年に見事な花を咲かせた。間伐材を「資源」として利活用し、CO ₂ 削減を推進するだけでなく、農業生産の向上、地域行事での木炭製品の販売による地域活性化への貢献などまで推進できる取組であり、持続可能な開発を可能にする実践であることが裏付けられた。		
その他			
取組、製品等の写真、図表等	<p style="text-align: center;">圃場への埋設 炭粉すみこ 飾炭 販売実習</p>		

連絡先等 （公表可能な範囲でご記入下さい）	（住 所） 〒731-0112 広島県山県郡安芸太田町加計 3780-1 （担当部署等） 総合的な探究の時間/森林を考える講座（林 克也・片岡 巧） （電話番号等） TEL:0826-22-0488 FAX: 0826-22-1691 （U R L） http://www.kake-h.hiroshima-c.ed.jp/
--------------------------	--